

教科名	対象学年	使用した資料（参考にした資料）	TYPE
社会	中学2年	授業アイデア集【中学校版】p15, 16	Ⅲ

授業内容 九州地方を題材に、グループでの学び合い学習を通じて、自然との共存を学び、共存していく対策を考えよう。

身に付けたい力 資料を分析し、課題を発見し、課題を解決していく力。

教科名	対象学年	学校名	課題の見られた問題	TYPE
社会	2年	神川町立神川中学校	26年度 高 2	Ⅲ
授業の内容	人口の分布や動態から、過疎・過密問題の原因と対策を考え説明し合おう。			
身に付けたい力	・グラフや主題図などから、地域の人口の分布とその変化を読み取れる力。 ・過疎・過密問題の原因と対策を考え、互いの考えを発表し学び合える力。			

【課題】 中国・四国地方を題材に、グループでの学び合い学習を通じて、過疎・過密問題の原因と対策を考えよう。

【単元の学習の計画】 (全5時間)

①テーマの概観 (2時間)
 テーマ：中国・四国地方の「自然環境の特色」「人口分布」「産業の特色」

②ジグソー法の学習の流れの説明、テーマごとの学習 (1時間) <エキスパート活動>

③異なるテーマを調べた生徒同士での学び合い (1時間) <ジグソー学習>

④代表生徒による発表、教員による補足 (1時間)

【学び合いの授業の流れ】

①同じ人数になるようにクラスを3つに分け、それぞれ異なる調べ学習のテーマを与える。そして、テーマごとに3~4人の班を3つずつ作り、テーマに沿って学習する。<エキスパート活動>

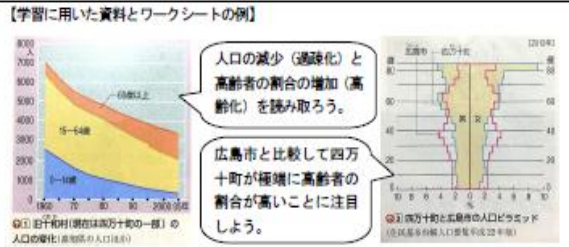
教科書や資料集を参考に、簡潔にまとめよう。
 箇条書きや矢印を用いたり、色を変えたりして、わかりやすく伝えられるよう工夫しよう。

②テーマごとの課題が解決できたら、最初の3人班の班員がそれぞれ分かれ、他の視点から調べた人同士が集まって3人班を組み、互いに学習してきたことを教え合う。<ジグソー学習>

教える側は教科書や資料集の図などを見せ、自分たちの調べた内容がわかりやすく伝わるよう工夫しよう。聞く側はメモを取りながら聞き、疑問点があれば質問し、互いの理解が深まるよう一緒に考えよう。

③代表者が黒板に記入して発表し、必要に応じて教員が補足することで、学習内容を共有する。

声の大きさ、強調する点なども意識して発表しよう。聞く人は、自分たちのまとめと比較し、より良いものはプリントに書き足そう。



教科書のグラフから、人口の変化と高齢者の割合の変化を適切に読み取ろう。

矢印や色の工夫などによって、わかりやすく簡潔にまとめよう。

自分たちで考え、根拠も含めて論述できるようになる。

【学び合いの際に用いた他のテーマのワークシートの例】 (課題の部分のみ)

③ 都市の役割とその課題 (P.174~175) ~広島市を例に~
 課題 教科書P.175「6広島市の人口の移り変わり」と「7東広島市の人口の移り変わり」を見て、広島市よりも東広島市の人口増加の割合が低いのはどうしてか、教科書や地図帳P.83の「②広島市付近」の地図を参照しながら考えよう。

④ 交通網の発展による地域の変化 (P.178~179)
 課題 四国からもう1本(1ルート)橋を架けられるとしたら、どこに架けますか。プリントの地図中に—を描き、その理由を書きましよう。

【授業のポイント①】

○エキスパート学習の中でさらに学びを深めるため、ティーチャー役の生徒を設ける。教員とその生徒が教えることで、教える側と教えられる側の距離感が近くなり、学び合いを活発にさせる。また学んだことを生徒同士でシェアリングできる。

【効果】

- ・エキスパート学習の時、箇条書きや矢印を用いたり、色を変えたりして、わかりやすくなったところ、理解が深まった。
- ・ジグソー学習の時、聞く側がメモを取りながら聞き、疑問点があれば質問し、互いの理解が深まるようにしていたところ、学び合いが活発になった。



リーダー：ティーチャー(教師役)

【授業のポイント②】

○主体的、対話的な学びを実施する。資料から課題解決を読み取り、班活動ではホワイトボードを活用する。また話形をつくり、班での役割を設け、学び合いが活発になる。

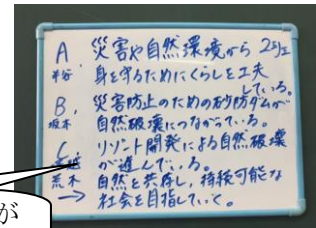
各班のボードが見やすい。



【改善・工夫した点 その①】

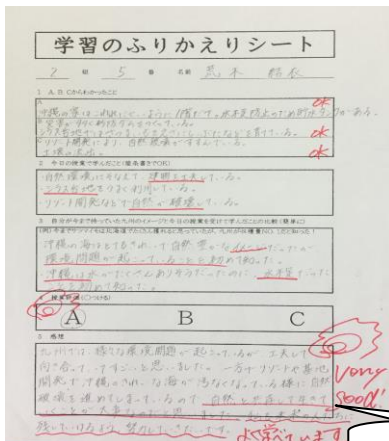
- ・班でのジグソー学習の時は、黒板に直接書いていると、時間がかかるため、磁石つきのホワイトボードを活用し、活動がスムーズになるようにした。
- ・班で話し合った結果を、黒板に貼れるホワイトボードを使用して各班の発表につなげた。

3人のエキスパート学習が課題解決に結び付いた！



【改善・工夫した点 その②】

- ・学習前、学習後の考えの比較を入れた、振り返り活動をする。
- ・自分の考えや意見を言葉でまとめる。まとめたものを書画カメラで写し、がんばって考えを書いた生徒を称える取り組みをする。
- ・まとめの時にNHK for Schoolの動画を見せた。



まとめがバッチリ

動画を見ると、生徒の顔が上がります。

【授業の様子】

- ・エキスパート学習で資料を読み解くのに時間がかかる生徒がいたが、課題をしつかりと認識させ、学びあうことで、解決することができていた。
- ・エキスパート活動での生徒の役割ができていた。
- ・型にはまった答えではなく、オープンエンドの課題資料のため、生徒の考えた答えが出た。→生徒から引き出した。

【留意点】

- ・エキスパート学習の時、課題につまづく生徒に、事前にヒントカード(課題解決に役立つキーワードが書かれたもの)を渡したり、机間指導を充実した。
- ・振り返りが単なる感想にならないように、学習内容を想起させた上で、自分の考えを書かせるようにした。